

<209> 自由設計での問題解決の学習指導のコツとは？

「自由設計」では、主体的な学習活動のやる気を促す資料の例に示した「魔法のことば」などで学習意欲を喚起し、主体的な学習活動を促すのが学習指導のコツです。しかし、「技術」には制約条件がつきものであることもおさえます。まず、「魔法のことば」の「自由に設計していいよ！」で「意欲づけ」し、次に「だけど、予算とか準備できる材料などが決まっているよね！」と、「制約条件」などを提示する順序が重要です。

「自由設計」では、最初に「知識・技能」のを最低限必要な基礎・基本を押さえ、二番目に、必要に応じて生徒自身が付け足していく主体的な学習に委ねます。そのため、学習する手順を板書に示すのがポイントです。板書には、どこに必要な学習内容の情報があるかと、学習や作業の手順を示すことが必須です。

資料：魔法の言葉の例

やる気を促す「意欲づけ」	技術に必要な「制約条件」など
自由に設計・計画していいよ！	だけど、予算や材料のことも考えなければ
自由につくっていいよ！	だけど、技術室にある工具を使ってね！
自分の思いを自由に実現させていいよ！	だけど、授業時間で完成するようにしてね！